



学校だより

おおとり

横浜市立大鳥小学校

令和3年2月3日 発行

2月号

大鳥小

検索

【大鳥小学校Webページ】

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/sch/es/ohtori/>

学校教育目標

〒231-0806 中区本牧町1-251

学校長 水島 貴志 TEL 621-7700

はばたく子

◆やさしい子

◆たくましい子

◆かしこい子

101年目のあゆみへ

副校長 宮崎 博隆

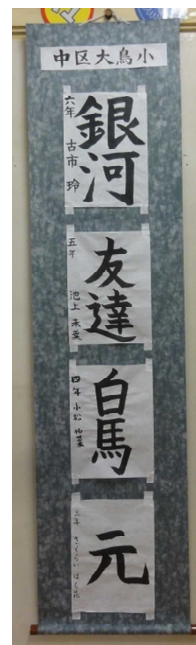
先月15日に「新型コロナ 国内の感染初確認からきょうで1年 収束兆し見えず」という報道記事を目にしました。あれから1年か…と感慨に浸るゆとりなどなく、何とか歩んできた、でもその先もなかなか見通せない、そんな思いで2回目の緊急事態宣言を過ごしている方が多いのではないのでしょうか。これまで、そして今この瞬間も感染症拡大防止に尽力されている医療従事者の方々をはじめ、関係の皆様には深く感謝申し上げたいと思います。



横浜市作品展・書写展

立体作品は来賓玄関に
書写は職員室前に展示

政府は昨日、新型コロナウイルス特別措置法に基づく緊急事態宣言について、7日までの期限を1カ月延ばし、3月7日までと決定しました。本校としましても、引き続き感染予防対策を徹底しながら教育活動を進めていく所存です。12日（金）にはこれまで2度延期になっていた「創立100周年記念式典」を執り行います。全校児童が式場に集まることはせず、テレビ中継が中心となりますが、98年目から足掛け3年間、積み上げてきた思いを全校で共有できる時間になってほしいと願っています。



さて、先日は「令和2年度 保護者アンケート」へのご協力ありがとうございました。結果のご報告は別掲いたしておりますが、私自身もすべてのご意見を拝見いたしました。この1年間、やはり特別な1年といえますか、いろいろ制約がありましたし、保護者の皆様の来校の機会も減りましたので、皆様がどのような感想をもたれていたのか、期待と不安が入り混じった気持ちで拝見しました。こちらに記述でお寄せいただいたご意見をいくつか抜粋して紹介いたします。

(次ページへ)

(前ページから)

○ 子どもたちを一番に思い、できる限り大鳥らしさを損なわないように考えて、BSFや全校遠足などを行っていただけただけなのに、本当に感謝しています。今までとは違う、制限のある活動の中でも、今まで通りの子どもたちの笑顔が見られていることがとてもうれしいです。

→こちらのご意見の他にも同じようなお気持ちをたくさんいただきました。「大鳥らしさを損なわない」こと、そして子どもたちが笑顔で過ごせること、このような視点でみんなで知恵を出しあって計画を作り直した1年でしたので、職員一同大変励みになります。

○ コロナ禍で大変な中、BSF開催、全校遠足、愛川体験学習など実施していただき、大変感謝しています。BSFの映像配信、休校期間のオンラインによる勉強サポートなど、さらに行き届くこともあると思いますので、引き続き検討いただければありがたいです。

→そうなのです。さらにできること。今だからできること、やらなければならないこと。何ができるか検討して少しずつですが、実現していきます。例えば…

- 入学説明会を映像収録し、学校YouTubeで見ただけのようにします。

- 同じく年度末の学校教育説明会も学校YouTube配信を考えています。

今回は職員が説明する映像ですからアップ可能と判断しますが、子どもの様子などをLIVE放送となるとまだ難しいところがあります。

- 休校中のサポートについては、まだまだ研究中です。ただ、ロイロノートを試していただきましたように、こちらの活用の可能性を探っている状況です。「100周年のマリンFMの放送を聞けなかったので聞きたい」というご要望をいただいていた。ロイロノートで何とかしてみました。詳細はこの後のコーナーをご覧ください。

そして、多かったのが次のようなご意見です。

○ 休み連絡をメールでできるようになればよい。朝、急に体調が悪くなり休む場合、集団登校がないので連絡帳を渡すのに困る人もいるのでは。家族が濃厚接触の場合、連絡帳のやり取りはやめた方がよい。

→今年度は集団登校を見合わせ個別登校になったことにより、連絡帳のやりとりが難しくなりました。欠席の連絡はお電話で受け付けていましたが、実は朝の時間帯は電話ラッシュでした。何か良い方法はないかと考えてたどり着いたのが体温チェック・出欠席受付アプリ「リーバー」です。導入の決め手はこれまで「健康観察表」(紙面)で報告していただいていた毎朝の体温や健康状態をこちらのアプリでご自宅からすぐに報告していただけることです。ご案内から正式運用までの日数が少なかったにもかかわらず、現在導入率すでに約93%です。改めましてご理解とご協力をいただき、御礼申し上げます。なお、現在連絡帳や荷物のやりとりはきょうだい関係に限定しています。

私は前回(11月号)の巻頭言で「変わる大鳥、変わらない大鳥」というお話をしました。今回は時代や情勢にあわせた大鳥小の「新しい形」の模索の紹介でした。保護者の皆様、地域の皆様のご意見・ご要望にすべてお答えすることはできませんが、大鳥小学校を取り巻く様々な課題に対して、お知恵を貸していただき、一緒に新しい時代へと歩んでいけたら幸いです。101年目の大鳥小もよろしく願い申し上げます。